

病害虫防除技術情報第 15 号

平成 26 年 10 月 9 日

三重県病害虫防除所

県内の一部の圃場で、QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)耐性イネいもち病菌が確認されました。QoI 剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を徹底しましょう。

1. 対象作物： 水稻(飼料用水稻を含む)
2. 対象病害虫名： イネいもち病
3. 三重県における QoI 剤耐性イネいもち病菌のモニタリング調査結果と発生状況
 - (1) 三重県農業研究所では、平成 26 年 6 月から 9 月に県内の 14 市町から採取したイネいもち病菌・482 菌株に対して、薬剤添加培地での感受性検定によるモニタリング調査を行いました。その結果、3 菌株で QoI 剤耐性イネいもち病菌(以下、耐性菌)が確認されました。
 - (2) 当該圃場では QoI 剤(表 1)を使用しておらず、また周辺圃場のイネいもち病菌からは耐性菌が確認されませんでした。以上の状況から、耐性菌は当該圃場の周辺に拡大していないとみられ、三重県内では QoI 剤のいもち病防除効果は低下していないものと判断されます。
 - (3) 耐性菌は三重県以外ではこれまでに、九州地方から東海地方にかけての 14 府県(山口県、島根県、愛媛県、福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、熊本県、岡山県、兵庫県、鳥取県、京都府、滋賀県、岐阜県)で発生が確認されています。
 - (4) 今後の対策として、耐性菌をまん延させないために QoI 剤を適切に使用するとともに、いもち病の基本的な防除対策を再度徹底しましょう。
4. イネいもち病防除における QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生を防ぐための注意点
 - (1) QoI 剤(表 1)の使用は最大年 1 回までとし、採種圃場での使用禁止を再度徹底しましょう。
 - (2) 長期持続型 QoI 剤の育苗箱処理は、耐性菌の選択を高める要因の一つとして考えられています。作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を選択しましょう(表 2)。
 - (3) QoI 剤を本田で使用する場合、多発時の使用を避け、葉いもちに対しては初発前あるいは発生初期に、穂いもちに対しては薬剤の使用適期に散布しましょう。
 - (4) いもち病防除の基本となる防除対策を再度徹底しましょう(種子更新を行い、健全な種子を使用する、塩水選や種子消毒を確実に、伝染源となるわらや籾を育苗ハウス内に放置しない、補植用の置き苗は早めに処分する、など)。
 - (5) 以上の取り組みを地域一体となって実施しましょう。
 - (6) QoI 剤で防除したにもかかわらず、効果が著しく低かった場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや関係団体へ御連絡ください。

表1 イネいもち病を対象としたQoI剤 ※最大年1回の使用としましょう。

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌11 (QoI剤)	高	アゾキシストロビン	アミスター
		オリサストロビン	嵐
		メミノストロビン	イモチエース、イモチミン、オリブライト、オリザトップ

表2 イネいもち病を対象としたQoI剤以外の農薬

※耐性菌の発生を防ぐため、作用機構の異なるグループでのローテーションで使用しましょう。

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌P (抵抗性誘導剤)	耐性菌未発生	プロベナゾール	オリゼメート、Dr.オリゼ、ビルダー、ジャッジ
		チアジニル	ブイゲット、アプライ
		イソチアニル	ルーチン、スタウト、ツインターボ
菌16.1	耐性菌未発生	トリシクラゾール	ビーム、ラテラ
		ピロキロン	コラトップ
		フサライド	ラブサイド
菌U14	耐性菌未発生	フェリムゾン	(フサライドとの混合剤) プラシン、 (トリシクラゾールとの混合剤) ノンプラス
菌6	低～中	IBP	キタジンP
		イソプロチオラン	フジワン、 (ピロキロンとの混合剤) ピカピカ、フジトップ
菌24	中	カスガマイシン	カスミン、 (トリシクラゾールとの混合剤) ゲットワンエース、ダブルカット
菌1	高	チオファネートメチル	トップジンM
		ベンミル	ベンレート

FRAC Code List (2012年2月現在) による分類。平成26年版 三重県病害虫防除の手引きを参照。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。